

第16回 「URUZO！」WG 議事録

日時:2019年3月18日(月) 19:00~21:00 場所:ふれあい歯科ごとう

出席:五島先生、E-KEKKA 委員会:板垣先生、矢作さん(薬樹薬局越谷)、関口さん、〇〇さん(申し訳ございません。お名前を失念いたしました)、白取さん(編集・ライター)

URUZO!:不二・荻原・石場(明治)、的場(ハウス食品)、木田(マルハニチロ)、鈴木(ヤヨイサンフーズ)、三好(アサヒグループ食品)、藤崎(日本介護食品協議会) (敬称略)

◆UDFの試食

試食では、五島先生をはじめ E-KEKKA 委員会の方々に区分ごとの物性の違いを体感いただくとともに、煎餅テスト結果をもとに試験に供する UDF 区分を決められるか検討する。

⇒上記項目を考慮することで、対象者の咀嚼機能に適した区分の選定は可能と判断

▽試食時コメント▽

- ・肉じゃがを比較することで違いが分かりやすい
- ・UDF4はミキサー食のような形態
- ・具材がなくなってしまうとテストは難しい
→試験実施の際、具材が必ず入るように配慮する
- ・煎餅テストで100回を超える人は中止
- ・対象者に食べてもらう区分の選定は?

◆試験方法

①スクリーニング

スクリーニング表に対象者のプロフィールを記載する。

煎餅テスト(サラダ煎餅1/4カット使用)の咀嚼回数と現状の食事形態を考慮し、試験対象者に適したUDF区分(=対象者に適した区分)を選定する。

〈前回までの懸念点〉

- ・煎餅テスト、咀嚼レベル、歯の噛み合わせの評価は誰が行うのか?
⇒管理栄養士が評価を行って問題ない(被験者の様子を見て判断)
- ・噛み合わせの評価基準は?
⇒残存歯(上下奥歯)の接触があるかどうかを見る(上下の歯が摂食する場所があれば噛み合っていると見る)

②試食テスト

スクリーニングで選定した区分を試食いただき、咀嚼できているかどうかなど評価する。また、試験対象者の咀嚼機能に適した区分だけでなく、1段階硬い区分も提供し評価する。試食テストの結果と煎餅テスト結果との相関の有無を確認する。

＜試験に供する商品＞

使用する商品は、可能な限りメニューとメーカーを揃える。揃えられない場合は、メーカーは問わずメニューをそろえて試験に供する。

白ごはん : UDF 2 ~ 4 (アサヒグループ食品)

クリームシチュー : UDF 1 (キユーピー) UDF 2 ~ 4 (ハウス食品)

肉じゃが : UDF 1、3 (キユーピー) 、UDF2 (アサヒグループ食品) 、UDF4 (ハウス食品)

◆その他

・商品送付

試食試験に使用する商品を UDF 事務局に、各商品 7 個ずつ送付する。その後、事務局から商品をまとめて以下に送付する

→薬樹に送付 (各 5 個)

→板垣先生送付 (各 2 個)

・次回開催

2019 年 5 月 13 日 19 時 @ふれあい歯科ごとう

事録作成者 アサヒグループ食品株式会社 三好 淳介

議事録確認者 URUZO !